

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	中心市街地としての機能的かつ快適な市街地の形成												
計画の期間	平成29年度～令和03年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	深谷市												
計画の目標	地区内の老朽化した密集建物やスプロール化していく市街地などの改善を図るため、建物移転に伴う改築を実施し、景観等も考慮した快適かつ安全性のある居住空間を創出する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	850	A	850	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	H33末
1	対象地区内の回遊性を高め、住む人の利便性、快適性の向上を図り、安心して暮らせる街づくりを目指す。 対象地区内における建物の改築率 対象地区内における建物の改築率=Σ(対象地区内の移転に伴う改築戸数)/Σ(対象地区内の要移転建物戸数)	15%	18%	23%
2	整備の進捗に伴い生じた空間(市管理地及び道路用地)を利用したイベント等を開催し、にぎわいの創出及び活性化を図る。 対象地区内における各種イベント等の開催日数	36日	42日	46日

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	深谷市	直接	深谷市	—	—	中央地区	都市再生区画 A=23.3 ha	深谷市	■	■	■	■	■	850		—	
												小計						850		
										合計							850			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

公表の方法

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

192戸が移転し、対象地区内における建物の改築率：15%（H29当初）から43%に向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き次期（R4年度からR8年度）についても、社会資本総合整備計画において建物移転等を実施し、快適かつ安全性のある居住空間を創出して深谷地区の人口密度を維持する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	20%	
	最終目標値	23%
	最終実績値	43%
2	46日	
	最終目標値	46日
	最終実績値	19日

(参考図面)

社会資本総合整備計画(市街地整備)

計画の名称	中心市街地としての機能的かつ快適な市街地の形成		
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)	交付団体	深谷市

